



稼げる! プロコン育成塾

稼げる! プロコン育成塾 21期 第8回講義、次のとおり報告します。

■実施要項

開催日時： 2022年2月26日(土) 10時～17時半

開催内容：【診る】診断実習(報告書のブラッシュアップ) 木村 洋一(14期)

【独立へのロールモデル】稼プロ! 卒塾生に聞く”成功への秘訣” 高橋 利忠(15期)

【特別講義⑤】稼げるプロコンになる予定の方へ『私の考えと想い・・・』

特別講師 金綱 潤 氏

■講義レポート

2月26日土曜日、稼げる! プロコン育成塾 21期の第8回講義が開催されました。前回に続き、Zoomによるオンライン形式となります。講義には塾生5名のほか、卒塾生1名(13期生)が出席しました。また、入塾希望者2名も講義見学のため、参加されました。

1. コースマスター講話

今回は、三現主義についてお話されました。三現主義とは、製造業でかねてより広く使われている原則です。「現場」「現物」「現実」の3つの「現」を重視し、実際の現場へ足を運んで、現物を観察し、現実を認識したうえで、問題の解決を図るという考え方になります。

一方で、現代は情報化の進んだ「デジタル時代」。直接的に現場へ足を運ぶ機会は、以前より減少していますが、そのような時代に、三現主義を対応させ、活用する方法論を展開していきます。

事実を目の前において意見を交わすこと、一次的な事実・記録を具体的に観ること、目的に照らし

てみることなどポイントを整理しながら、わかりやすく説明されました。基本的な大原則は、時代が変わっても通用するものであり、今後の業務の際は、意識してみたいと思います。



写真 1 : コースマスター

2. 【診る】診断実習(報告書のブラッシュアップ)

講師:木村 洋一(14期)

前回の講義にて、診断先へのヒアリングを実施しました。それをもとに塾生が作成した報告書に対して、木村講師の指摘事項を確認し、ブラッシュアップを図る時間となります。

塾生たちは、講義外でも打ち合わせを行い、70ページ超の報告書を提出しています。その報告書に対し、木村講師からの指摘コメントが細かく付されていました。塾生、木村講師それぞれの実習に対する熱意が感じられるものになっています。

木村講師は、まず、診断士としての姿勢を説かれていました。診断先に対して、これからどうするかをしっかりとした理論で伝えるのが診断士の仕事であるという発言は、強く印象に残り、診断士としての使命を再認識しました。

その後、報告書に対して、クロスSWOTから見つけた課題をうまく提言へつなげられているかなどの全体総括、また付された指摘コメントについて一つひとつ丁寧な説明をされました。

木村講師の熱意ある講義には、報告書改善のヒントがたくさん散りばめられています。ブラッシュアップされる報告書は、より診断先に強く訴えかけるものになるでしょう。



写真 2：木村講師

3. 【独立へのロールモデル】稼プロ！卒業生に聞く”成功への秘訣”

講師：高橋 利忠(15期)

過去にもご登壇いただいたことのある 15 期高橋利忠講師のロールモデルとなります。銀行からキャリアをスタートし、長らく企業内診断士として2足のわらじで活躍されていましたが、2021年に独立されました。

企業内診断士時代から、独立後の現在に至るまで、ご自身の歩んだ道を丁寧にお話いただきました。前塾長のアドバイスを受け、5年以内の独立を宣言し、それを本当に実現したということに驚きを感じます。

独立1年目において、すでに忙しくご活躍されています。企業内診断士の時代から、何事にも積極的に取り組んできた姿勢が、現在のご活躍につながっているものと感じました。独立を目指す塾生にとって、高橋講師の経験談やメッセージは、学ぶところが多かったのではないのでしょうか。



写真 3：高橋講師

4. 【特別講義⑤】稼げるプロコンになる予定の方へ『私の考えと想い・・・』

特別講師 金網 潤 氏

昨年に続き、東京よろず支援拠点チーフコーディネーター金網潤講師の特別講義となります。

前半は、よろず支援拠点での事例を、ユーモアあふれる語り口で、数多くご紹介いただきました。実際の事例に触れることは、今後の診断業務を行う際に役に立つことと思います。

後半は、ワークを通して、コンサルタントとはどうあるものかということをご一緒に考える時間となりました。診断士活動を行う際の基本姿勢を、改めて考える機会となりました。

■ 次回の案内

次回、第9回講義は2022年3月26日、内容は以下のとおりです。

【聴く】経営相談（ロールプレイ）

講師：志倉 康之(12期)
(事務局：木村 祐介(18期))

以上



写真 4：金網講師